

われただけで、立ち直る可能性すらあります。

どんなに真剣に伝えても、どんなにいい言葉でも、信頼関係がないと相手は聞く耳をもちません。通りすがりのおっちゃんになんとか励まされても、「何ですか！あなたは！」と言われそうです。

○信頼されない5つの行動。

①約束を破る。嘘をつく。

約束した後に、それを守らない。またそれが続くと、信頼がなくなるどころか嘘つきと思われれます。言った事や約束を守らない事には信頼は得られません。

②一貫性がない。

言ったことに対して後でそれと逆の事を言ったり、逆の行動をすると呆れられます。自分の言ったことをきちんと守ることが大切です。

③困難から逃げる。

時と場合によっては、逃げることも必要ですが、逃げてばかりでは弱虫に見られます。困難である事を解決できるほど、出来る人と見られます。

④不正な行為。

不正な行為を行なって、何かを成しえても褒められたことではありません。正当な方法で解決する事ができた時に、人から褒められます。

⑤気配り、配慮がない。

他人の感情や意見を考えない発言は自分勝手と思われれます。誰かの意見に共感を持つ事や要望に応えることは気配り出来る優しい人と見てもらえます。



○信頼されるには

信頼されるには、これらの逆を行なうことが必要です。

①約束を守る。 ②一貫性がある。 ③困難を解決する。 ④公正や正当性のある行ないをする。

⑤気配りをする。

以上。

うちの娘はそろそろ4歳になり、善悪の判断がわかるようになっていきます。

この前、娘と一緒に歩道を歩いている時に落ちていた100円を拾って黙ってポケットに入れたら、「なんで貰うの？」とダメ出しされましたが、もちろん、交番には届けません。

届けることで、娘の目には良く映るかもしれませんが、届けるとお巡りさんの手間がかかるだけです。こんな事では娘からの信頼を失いそうですが、臨機応変に考えることも必要な場合もある事を理解するのも大切だと思います。

※きじぽ～新聞では、行動できたら良いと思うことを書いており、松野個人が必ず守りきれている訳ではありません。ケースバイケースです。